



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 株式会社リブセンス 上場取引所 東
 コード番号 6054 URL <https://www.livesense.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 太一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中里 基 TEL 03-6275-3330
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	4,708	△9.9	33	27.1	114	27.5	76	△57.2
2018年12月期第3四半期	5,224	10.2	26	△88.0	89	△75.5	178	△25.5

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 58百万円 (△46.3%) 2018年12月期第3四半期 109百万円 (△55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	2.72	2.71
2018年12月期第3四半期	6.35	6.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	4,440	3,765	84.6
2018年12月期	4,322	3,707	85.2

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 3,757百万円 2018年12月期 3,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△8.7	0	—	80	△69.4	1,200	320.8	42.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2019年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	28,140,800株	2018年12月期	28,140,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	320株	2018年12月期	320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	28,140,480株	2018年12月期3Q	28,136,770株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料は、本決算短信と同時に開示しております。

また、当会社ウェブサイトにも掲載いたします。（URL <https://www.livesense.co.jp/ir/>）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、求人情報メディアを始めとする複数のインターネットメディアを運営しております。

当第3四半期連結累計期間は、当期のテーマである「競争優位の確立」に向け、サービスの本質的価値向上に向けたメディア改善、将来の成長のための基盤構築に取り組んでまいりました。

2018年12月期において株式会社waja（以下、「waja社」）の株式の一部を譲渡し連結の範囲より除外したこと、求人情報メディア事業において一部の新規営業の停止、採用数の減少があったことなどから、連結売上高は前年同期を下回った一方、上述の新規営業の停止により営業費用が減少したことなどから、連結営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,708,969千円（前年同期比9.9%減）、営業利益は33,250千円（前年同期比27.1%増）、経常利益は114,109千円（前年同期比27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は76,480千円（前年同期比57.2%減）となりました。

各事業の業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度において「イーコマース事業」を構成しておりましたwaja社の株式の一部を2018年9月30日に譲渡し、連結の範囲より除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より当該報告セグメントを廃止しております。

a. 求人情報メディア事業

求人情報メディア事業におきましては、成功報酬型ビジネスモデルを活用したアルバイト求人サイト「マッハバイト」、ロコミ付き転職サービス「転職会議」、正社員転職サイト「転職ナビ」、新卒就活サービス「就活会議」、競争入札型転職サービス「転職ドラフト」等を分類しております。

「転職会議」においては、営業による短期的な事業拡大の方針を転換し、メディアの価値向上による中期的・持続的な拡大に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間は、新規営業の停止等により減収となった一方、サイトのUI/UX向上、企業情報の拡充等の施策が進捗いたしました。「マッハバイト」は、広告出稿の拡大等により増収となった一方、「転職ナビ」は、広告出稿の調整等に伴う応募数の減少や一部顧客の採用抑制の影響等により採用数が減少し、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は3,950,193千円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は770,302千円（前年同期比5.8%減）となりました。

各サイトの売上高は、次のとおりであります。

・マッハバイト：	1,917,898千円（前年同期比	14.8%増）
・転職会議：	749,285千円（前年同期比	18.9%減）
・転職ナビ：	864,099千円（前年同期比	20.6%減）
・その他（就活会議、転職ドラフト等）：	418,910千円（前年同期比	24.3%増）

b. 不動産情報メディア事業

不動産情報メディア事業におきましては、成功報酬型ビジネスモデルを活用した賃貸情報サイト「DOOR賃貸」、不動産情報サービス「IESHIL（イエシル）」（以下、「イエシル」）等を分類しております。

当第3四半期連結累計期間は、「DOOR賃貸」においては広告を積極投下したことにより、集客が伸長した一方で広告費が増加いたしました。「イエシル」においては、保育園情報の掲載、価格査定エンジンのバージョンアップによる査定精度の向上等、サイト価値向上に向けた取り組みが進捗いたしました。

この結果、売上高は749,656千円（前年同期比14.3%増）、セグメント利益は155,576千円（前年同期比7.2%減）となりました。

c. その他事業

その他事業におきましては、テスト運用中のサービスを含む複数の新規事業及び検索エンジン対策を中心としたWebマーケティングに関する助言業務による収入等を分類しております。

前連結会計年度において、株式会社ユニラボとのBtoBのサービス比較・発注情報サイト「アイミツ」の共同運営を終了いたしました。また、新たな成長の柱の確立及びその過程を通じた組織・人材の強化を目的として、新規事業の立ち上げに取り組んでおります。

この結果、売上高は9,120千円、セグメント損失は17,016千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,440,712千円となり、前連結会計年度末に比べ118,032千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加117,396千円、売掛金の増加60,624千円及び流動資産のその他の減少44,979千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、674,913千円となり、前連結会計年度末に比べ59,907千円増加いたしました。これは主に、未払金の増加171,589千円及び流動負債その他の減少104,176千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,765,799千円となり、前連結会計年度末に比べ58,125千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加76,480千円及び非支配株主持分の減少16,236千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月14日に公表いたしました2019年12月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2019年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,235,481	3,352,878
売掛金	588,999	649,623
その他	100,312	55,333
貸倒引当金	△466	△510
流動資産合計	3,924,327	4,057,324
固定資産		
有形固定資産	81,460	79,235
無形固定資産	22,254	14,869
投資その他の資産		
その他	296,622	291,659
貸倒引当金	△1,985	△2,375
投資その他の資産合計	294,636	289,283
固定資産合計	398,352	383,388
資産合計	4,322,680	4,440,712
負債の部		
流動負債		
未払金	313,064	484,654
未払法人税等	15,325	17,634
賞与引当金	56,899	32,384
その他	226,984	122,808
流動負債合計	612,274	657,481
固定負債		
資産除去債務	2,732	2,732
長期借入金	—	14,700
固定負債合計	2,732	17,432
負債合計	615,006	674,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,292	235,292
資本剰余金	223,742	223,742
利益剰余金	3,224,168	3,300,649
自己株式	△856	△856
株主資本合計	3,682,347	3,758,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564	△1,127
その他の包括利益累計額合計	564	△1,127
新株予約権	8,525	8,098
非支配株主持分	16,236	—
純資産合計	3,707,673	3,765,799
負債純資産合計	4,322,680	4,440,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,224,676	4,708,969
売上原価	540,727	387,868
売上総利益	4,683,949	4,321,101
販売費及び一般管理費	4,657,786	4,287,851
営業利益	26,162	33,250
営業外収益		
受取利息	30	31
クーポン失効益	16,685	—
補助金収入	5,438	846
違約金収入	40,408	80,821
その他	3,126	5,498
営業外収益合計	65,688	87,197
営業外費用		
支払利息	—	20
為替差損	199	62
投資事業組合運用損	2,172	6,255
営業外費用合計	2,371	6,338
経常利益	89,480	114,109
特別利益		
関係会社株式売却益	27,772	—
特別利益合計	27,772	—
税金等調整前四半期純利益	117,252	114,109
法人税、住民税及び事業税	1,305	44,353
法人税等調整額	7,117	9,511
法人税等合計	8,423	53,864
四半期純利益	108,828	60,244
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,967	△16,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,796	76,480

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	108,828	60,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281	△1,692
その他の包括利益合計	281	△1,692
四半期包括利益	109,110	58,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,077	74,788
非支配株主に係る四半期包括利益	△69,967	△16,236

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な事業の譲渡

当社は、2019年10月17日開催の取締役会において、成功報酬型賃貸情報サイト「DOOR賃貸」の事業譲渡について決議し、同日株式会社キャリアインデックスと事業譲渡契約を締結しました。

(1) 譲渡の理由

当社は、コーポレートビジョン「あたりまえを、発明しよう。」を掲げ、複数のインターネットメディアの運営を行っております。

「DOOR賃貸」は2010年より運営を始めた成功報酬型の賃貸情報サイトであり、複数の不動産会社・不動産ポータルサイトから提供を受けた賃貸物件情報をユーザーとマッチングし、送客するサービスを行っております。当社では、当該事業は中長期的成長に向けた投資を支える収益事業として位置づけ、利益創出を重視し運営してまいりました。

当社は、新たな「あたりまえ」を発明し、将来の成長を実現するための方針及び各種リソースの最適化を継続的に検討しております。当社の現在のフェーズでは、新たな「あたりまえ」の種となる新規事業への投資強化と、そのための既存事業の選択と集中による事業ポートフォリオの組み換えが必要であると考えております。

投資を支える利益創出を目指し、比較的少リソースで運営を行っている当該事業については、収益状況が良好なため事業譲渡によって将来の投資資金を一括して確保できる状況にあること、人員の移籍を伴わずに譲渡することで当社の人的リソースをより注力する事業に充てられること、他社が力を入れて運営することで、当社で少リソース運営を継続する以上の成長も見込めることなどから、事業ポートフォリオ組み換えの有力な手段として譲渡を検討してまいりました。

一方、キャリアインデックスは、人材関連サイト、スクール情報サイトを運営しており、新たな分野への進出による事業ポートフォリオ拡大により、企業価値の向上を検討してまいりました。

このような状況のもと、両社の戦略が一致し、当該事業の譲渡を決定いたしました。

(2) 譲渡する相手会社の名称

(1) 名 称	株式会社キャリアインデックス	
(2) 所 在 地	東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー15F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 CEO 板倉 広高	
(4) 事業内容	インターネットを利用した集客プラットフォームの運営	
(5) 資 本 金	395百万円 (2019年3月31日現在)	
(6) 設立年月日	2005年11月30日	
(7) 純 資 産	2,720百万円 (2019年3月31日現在)	
(8) 総 資 産	3,172百万円 (2019年3月31日現在)	
(9) 大株主及び持ち株比率	板倉 広高60.36% (2019年3月31日現在)	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	求人情報メディア事業において、営業上の取引があります。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません

(3) 譲渡の時期

2019年12月1日 (予定)

(4) 事業譲渡の概要

①譲渡する事業が含まれている報告セグメントの名称

不動産情報メディア事業

②譲渡する事業の内容

成功報酬型賃貸情報サイト「DOOR賃貸」

③譲渡する事業の経営成績

	2018年12月期
売上高	766百万円
経常利益	351百万円

④譲渡する資産、負債の額

譲渡する資産

ソフトウェア（ただし、減価償却を行っているため帳簿価額はありません。）

譲渡する負債

該当事項はありません。

⑤譲渡価額及び決済の方法

譲渡価額 1,750百万円（税抜）

決済方法 現金による決済